

前回委員会等における指導・助言事項と その対応方針について

令和8年1月

沖縄防衛局

1. サング類の生息状況等について

区 分	指摘 / 指導・助言事項	事業者の対応方針
① 生物生息状況の把握について	<p>【第 56 回環境監視等委員会】</p> <p>今後のモニタリングにおいて、生物生息状況（魚類・大型底生生物）の比較のために、対照区を設定することについて検討すること。</p>	<p>移植・移築先の生物生息状況との比較のために、移植・移築先の地区の外に調査地点（対照区）を選定する方針とし、同選定結果等を資料 2 に提示。</p>

2. 海草藻場の生育範囲拡大について

区 分	指摘 / 指導・助言事項	事業者の対応方針
② 地下茎伸長の把握について	<p>【第 56 回環境監視等委員会】</p> <p>今後のモニタリングにおいて、植え付けたリュウキュウスガモの地下茎の伸長を定量的に把握することについて検討すること。</p>	<p>過年度の現地実証試験における地下茎の伸長状況の推定方法・結果及び令和 7 年度の冬季モニタリングの結果等を踏まえ、海草類を専門とする委員等の指導・助言を得ながら、地下茎の伸長を定量的に把握する手法について検討し、検討結果を次回以降に提示する予定。</p>
③ 周囲に分布する海草藻場の生育状況の把握について	<p>【第 56 回環境監視等委員会】</p> <p>今後のモニタリングにおいて、植付け区画の周囲に分布する海草藻場の状況も把握し、植え付けたリュウキュウスガモのランクとの比較に用いることについて検討すること。</p>	<p>令和 7 年度の冬季モニタリングの結果及びその実施に合わせて把握した周辺の花藻場の状況を踏まえ、海草類を専門とする委員等の指導・助言を得ながら、植付け区画の周囲に対照区を設けることについて検討し、検討結果を次回以降に提示する予定。</p>
④ 植付け時の移植株の配置について	<p>【第 56 回環境監視等委員会】</p> <p>今後の植付け方法について、植付け後の生育状況を向上させる工夫として、リュウキュウスガモの植付け時の密度について検討すること。</p>	<p>令和 7 年度の植付け時において、植付け区画の一部を対象に、植え付ける株（ヘチマポット）の間隔を従来より狭める配置とすることを試行し、植付け後の生育状況をモニタリングにより確認していく方針（資料 4 参照）。</p>